

体育の授業診断のための文章完成法テストの作成

池 田 隆 二*

Designing "Sentence Completion Tests" with a View to Examining the Lessons of Physical Education

Ryuji IKEDA*

(Received September 12, 1977)

I 目的と意義

これまでに体育実技の授業を診断する方法として、一般的に用いられてきたものは、『この授業は意義があったか』という設問に対して、「意義あり」「意義なし」「どちらともいえない」というように、あらかじめ用意した答を選択させる質問紙法とか、『この授業で感じたことを自由に記述しなさい』という作文法などが主である。

質問紙法は学習者の反応を数量化し、授業の成否を検討することは容易である反面、学習者の心の中で起っているさまざまな事柄までをさぐることは困難であり、作文法は学習者が何を感じ、何を得たかという事柄をかなり適確にとらえることはできるが、それを数量化することがきわめてむづかしいという難点があった。

小林氏は、上記二つの方法を発展させ、態度測定法の応用により、体育実技に対する態度測定法^{1) 2) 3) 4) 5)}を考案した。

小林氏の体育実技に対する態度測定法は、体育の授業に対するさまざまな意見を自由にかかせるかわりに、学習者が感受すると思われるなまの意見を、あらかじめ検討した上、調査者の側で30項目からなる意見を用意し、それぞれの意見に対して、学習者がその賛否をチェックするという方法であり、授業開始時と終了時の調査から、体育実技での「喜び」「評価」「価値」の三つの側面からの態度尺度によって、態度形成という面で授業の成功、不成功などを診断するものである。

本研究は、祖父江氏⁶⁾が県民性について、文章完成法テストを用いて行なった研究結果を参考にして、質問紙と自由記述の二つの方法の長所を兼ねそえた体育実技に対する調査方法を考案することを目的とする。

II 調査票の作成

1. 未完成の文章の作成

体育実技の授業に関して、例えば、「この授業での先生の指導を私は———」というように、文章の後半が空白になっていて、その空白の部分を学習者が比較的容易に埋めることができるような文章(テスト項目)を21個作成した。

2. 調査票の作成

これら21個の未完成な文章を並べて、次のページのような調査票を作成した。

3. テスト項目の分類

21項目からなる文章はつぎの七つに分類される。

- (1) 自分の能力に関すること(項目番号1, 8, 15)
- (2) 友人に関すること(2, 9, 16)
- (3) 教師に関すること(3, 10, 17)
- (4) 認知に関すること(4, 11, 18)
- (5) 価値観に関すること(5, 12, 19)
- (6) よろこびに関すること(6, 13, 20)
- (7) 評価に関すること(7, 14, 21)

4. テスト時間

テスト時間は予備テストの結果、15分から20分が適当であることがわかったが、特に制限時間はもうけなくてもよい。

5. テスト項目の妥当性の検討

この調査を昭和52年7月、第一学期終了時に中部工業大学の学生728名(男子)を対象に実施。これら21個の未完成の文章が体育の授業に対する学生の意識や態度をみる質問として意味があるかを検討するために、リッカート法による態度尺度構成の手続きを踏んで項目分析をした。

*保健体育系列 (Department of Liberal Arts and Sciences
—Health and Physical Education)

授 業 に 対 す る 調 査

つぎに、しり切れとんぼの文章が21項目印刷してあります。各々の文章を読み、文章の上手、下手を気にしないで、あなたの心に浮かんだ最初の気持や考えを、そのまま挿線の部分に入れて、完全な文章にしてください。誰れでもそれぞれ異った文章をつくるはずです。正しい答とか誤った答とかいうものは全然ありませんから自由に思いつくままに記入してください。

1. この授業で感じた私の運動神経は _____
2. この授業をとおして私は友を _____
3. この授業での先生の指導を私は _____
4. この授業で私はアア、ソウカとかアア、ワカッタと _____
5. この授業で私は自ら行動するという積極性 _____
6. この授業で体育するよろこびを私は _____
7. この授業は体育以外の科目とくらべ私は _____
8. この授業で感じた私の運動技能は _____
9. この授業で私といっしょに活動していた人たちは _____
10. この授業でみる先生を私は _____ と思う。
11. この授業で私は今までになかった新しい発見 _____
12. この授業で私は正しいマナーなどを身に _____
13. この授業で私は心やからだににより興奮 _____
14. この授業が終わったあと私は _____ を一番感じる。
15. この授業で自分の _____ を感じた。
16. この授業の時の仲間は _____
17. この授業のやり方は理論と実践が _____
18. この授業で教わったことを私は _____
19. この授業で私は、キビキビした動きのできるからだ _____
20. この授業で私は心がおどるほどうれしかった _____
21. この授業によって私は日常からだを動かす習慣 _____

この授業で実施した運動種目 () クラス 番

項目分析は①調査票の反応を、項目ごとにⅢの1で示すタイプ別評点によって得点化する。②得点化された21項目の得点を合計し、個人の得点とする。③合計得点の高いものから順に上位群25% (182名)、低いものから順に下位群25% (182名) をぬきだす。④上位群と下位群との間のタイプ別反応の分布 (単純集計) の差を項目ごとに χ^2 検定する。その具体例を項目1について示すとつぎのとおりである。

	FA型	FN型	N型	NN型	NA型	計
上位群	12	38	108	23	1	182
下位群	0	13	89	68	12	182
	P<.001					364

このような手続きにより、上位群も下位群も、その反応が同じような分布をする項目は意識や態度を調べる質問として意味がないので削除する。

上記の方法による項目分析の結果、21の全項目が $P>.01$ 水準で有意であることが認められた。

Ⅲ テストの分析方法

1. タイプの分類

21項目の文章の完結法にあらわれている反応を五つのタイプに分類し、それぞれのタイプに評点を与えた。

- (1) 好意的積極型 Favourable-Active Type (FA型) 評点 2

解釈の摘要：たずねられた事柄について、好意的な感情で強く満足を示す場合。

- (2) 好意的消極型 Favourable-Negative Type (FN型) 評点 1

解釈の摘要：たずねられた事柄について、やや好意的で肯定的な感情を示す場合。

- (3) 中間型 Neutral Type (N型) 評点 0

解釈の摘要：たずねられた事柄について、好意、非好意のいずれの感情も含まず、単に事実の叙述にとどまっている場合。

- (4) 非好意的消極型 Non Favourable-Negative

Type (NN型) ……評点－1

解釈の摘要：たずねられた事柄について、やや非好意的で否定的な感情を示す場合。

(5) 非好意的積極型 Non Favourable-Active Type (NA型) ……評点－2

解釈の摘要：たずねられた事柄について、非好意的な感情で強く否定する場合。

2. 反応様式の実例

(1) 自分の能力に関すること

FA型（評点2）

1. この授業で感じた私の運動神経はばつぐんである。
8. この授業で感じた私の運動技能はすばらしい。
15. この授業で自分のだれにもまけない体力や運動能力を感じた。

FN型（評点1）

1. この授業で感じた私の運動神経はまあまあよい。
8. この授業で感じた私の運動技能は良い方と思う。
15. この授業で自分のかくれた力を感じた。

N型（評点0）

1. この授業で感じた私の運動神経は普通である。
8. この授業で感じた私の運動技能はこんなものだ。
15. この授業で自分の運動神経は並であることを感じた。

NN型（評点－1）

1. この授業で感じた私の運動神経は普通よりにぶい。
8. この授業で感じた私の運動技能は思ったよりもわるかった。
15. この授業で自分の運動神経のにぶさを感じた。

NA型（評点－2）

1. この授業で感じた私の運動神経は大変にぶい。
8. この授業で感じた私の運動技能はあまりにもひどかった。
15. この授業で自分の運動能力が誰よりもおとっていると感じた。

(2) 友人に関すること

FA型（評点2）

2. この授業をとおして私は友を非常に大切に思うようになった。
9. この授業で私といっしょに活動していた人たちは最後までけんめいにやりとおした。
16. この授業の時の仲間はみんな一生懸命であった。

FN型（評点1）

2. この授業をとおして私は友を見つけることができた。
9. この授業で私といっしょに活動していた人たちは

体力のあるのに感心した。

16. この授業の時の仲間はみんな明るい人たちだ。

N型（評点0）

2. この授業をとおして私は友をなんとも思わなかった。

9. この授業で私といっしょに活動していた人たちはみんな元気がいい。

16. この授業の時の仲間は平凡な人の集りだと思った。

NN型（評点－1）

2. この授業をとおして私は友をあまり理解できなかった。

9. この授業で私といっしょに活動していた人たちはだらだらしていた。

16. この授業の時の仲間はもう少しまじめであってほしい。

NA型（評点－2）

2. この授業を通して私は友を全然つくることができなかった。

9. この授業で私といっしょに活動していた人たちはたいまんの者が多い。

16. この授業の時の仲間はしんけん味が全然ない。

(3) 教師に関すること

FA型（評点2）

3. この授業での先生の指導を私は大変よく理解できた。

10. この授業でみる先生を私は今までにないよい先生と思う。

17. この授業のやり方は理論と実践が非常によくかみあっている。

FN型（評点1）

3. この授業での先生の指導を私は賛成できる。
10. この授業でみる先生を私はよく指導してくれる先生と思う。

17. この授業のやり方は理論と実践が平行してよかった。

N型（評点0）

3. この授業での先生の指導を私はよいのかわるいのかよくわからない。

10. この授業でみる先生を私は面白い先生と思う。

17. この授業のやり方は理論と実践がどうなっているのかよくわからない。

NN型（評点－1）

3. この授業での先生の指導を私はあまりよいとは思わない。

10. この授業でみる先生を私はたよりないと思う。

17. この授業のやり方は理論と実践がどうもうまくゆかない。

NA型（評点－2）

3. この授業での先生の指導を私は全く理解することができなかった。

10. この授業でみる先生を私はにこらしい先生と思う。

17. この授業のやり方は理論と実践が全然ちがうと思った。

(4) 認知に関すること

FA型（評点2）

4. この授業で私はアア、ソウカとかアア、ワカッタということがたくさんあった。

11. この授業で私は今までになかった新しい発見が大いにあった。

18. この授業で教わったことを私は家で実際にやっている。

FN型（評点1）

4. この授業で私はアア、ソウカとかアア、ワカッタと思ったことが一、二度あった。

11. この授業で私は今までになかった新しい発見をすることができた。

18. この授業で教わったことを私は役立てたい。

N型（評点0）

4. この授業で私はアア、ソウカとかアア、ワカッタということはおぼえてない。

11. この授業で私は今までになかった新しい発見についてはよくわからない。

18. この授業で教わったことを私はだいたい覚えている。

NN型（評点－1）

4. この授業で私はアア、ソウカとかアア、ワカッタと思ったことはない。

11. この授業で私は今までになかった新しい発見をしなかった。

18. この授業で教わったことを私は身につけることができなかった。

NA型（評点－2）

4. この授業で私はアア、ソウカとかアア、ワカッタということは全くない。

11. この授業で私は今までになかった新しい発見を全くしなかった。

18. この授業で教わったことを私は全然実行しようとは思わない。

(5) 価値観に関すること

FA型（評点2）

5. この授業で私は自ら行動するという積極性が大いに身についた。

12. この授業で私は正しいマナーなどを身にしっかりつけた。

19. この授業で私は、キビキビした動きのできるからだづくりに大いに役立った。

FN型（評点1）

5. この授業で私は自ら行動するという積極性を養うことができた。

12. この授業で私は正しいマナーなどを身につけることができたと思う。

19. この授業で私は、キビキビした動きのできるからだになりつつある。

N型（評点0）

5. この授業で私は自ら行動するという積極性が特に得られたという気はしない。

12. この授業で私は正しいマナーなどを身につけたつもりではあるがよくわからない。

19. この授業で私は、キビキビした動きのできるからだをつくるかどうかよくわからない。

NN型（評点－1）

5. この授業で私は自ら行動するという積極性が身につかなかった。

12. この授業で私は正しいマナーなどを身につけることができなかった。

19. この授業で私は、キビキビした動きのできるからだをつくるまでにはいたっていない。

NA型（評点－2）

5. この授業で私は自ら行動するという積極性を全く養うことができなかった。

12. この授業で私は正しいマナーなどを身に な につけなかった。

19. この授業で私は、キビキビした動きのできるからだではなかったことを痛感した。

(6) よろこびに関すること

FA型（評点2）

6. この授業で体育するよろこびを私は十分かみしめた。

13. この授業で私は心やからだによい興奮をあたえ汗を流し、すがすがしく感じるが多かった。

20. この授業で私は心がおどるほどうれしかったことがたくさんあった。

FN型（評点1）

6. この授業で体育するよろこびを私は最近、感じはじめた。

13. この授業で私は心やからだによい興奮を覚えた。
20. この授業で私は心がおどるほどうれしかったこともある。

N型（評点0）

6. この授業で体育するよこびを私は別に何とも感じない。

13. この授業で私は心やからだによい興奮があったかどうかわからない。

20. この授業で私は心がおどるほどうれしかったことは特にみあたらない。

NN型（評点-1）

6. この授業で体育するよこびを私はみいだしたとはいえない。

13. この授業で私は心やからだによい興奮はなかった。

20. この授業で私は心がおどるほどうれしかったことは残念ながらなかった。

NA型（評点-2）

6. この授業で体育するよこびを私は全く失ってしまった。

13. この授業で私は心やからだによい興奮など全然覚えなかった。

20. この授業で私は心がおどるほどうれしかったことはなになかった。

(7) 評価に関すること

FA型（評点2）

7. この授業は体育以外の科目とくらべ私は大切な科目と思う。

14. この授業が終わったあと私は充実感を一番感じる。

21. この授業によって私は日常からだを動かす習慣が大いに身についた。

FN型（評点1）

7. この授業は体育以外の科目とくらべ私は好きだ。

14. この授業が終わったあと私はすがすがしさを一番感じる。

21. この授業によって私は日常からだを動かす習慣が多少ついてきた。

N型（評点0）

7. この授業は体育以外の科目とくらべ私は時間のたつのが早いと感じた。

14. この授業が終わったあと私は疲れを一番感じる。

21. この授業によって私は日常からだを動かす習慣がまだできそうもない。

NN型（評点-1）

7. この授業は体育以外の科目とくらべ私はいやである。

14. この授業が終わったあと私は体力不足を一番感じる。

21. この授業によって私は日常からだを動かす習慣は身につかなかった。

NA型（評点-2）

7. この授業は体育以外の科目とくらべ私は最もがてである。

14. この授業が終わったあと私はもうやりたくないということが一番感じる。

21. この授業によって私は日常からだを動かす習慣は全然ついていない。

3. 五段階分類法によるタイプ分け

21項目の評点の合計点の巾は42点から-42点となる。調査対象学生728名の評点は平均値7.45、標準偏差7.53であった。これをもとに五段階分類法によって、学生を五つのタイプに分ける基準を作ったところ、その結果はつぎのようになった。

FA型	19点以上
FN型	18点～12点
N型	11点～4点
NN型	3点～-4点
NA型	-5点以下

Ⅳ 調査から診断までの手順

1. 調査

調査はⅡの2で示した調査票を学期の終りに学習者に配布、全文を完結させて回収する。

2. 分析の方法

①各項目の評点の分布をみる

完結された文章を項目ごとに解釈して評点をつけ、その評点の分布をみて分析する。

②各タイプの分布傾向をみる

全項目の評点を総計してタイプ分けをし、その分布傾向をみて分析する。

3. 診断

分析の方法①から項目ごとの傾向、②から全体的傾向によって授業の診断を行なうが、その過程で学生の完結した文章を熟読することによって、個人的な心の中の問題や学習者全体のスキルの向上、学習集団の雰囲気などを適確に把握する。

Ⅴ 診断事例

1. 授業の概要

ゴルフ教材（対象・大学二年生、人数・50名、期間・9週、場所・グラウンド、受講法・選択、学習形態・一斉）。

サーキット・トレーニング教材（大学一年生，49名，9週，体育館，指定，一斉からグループ）。

インターバル・トレーニング教材（大学一年生，46名，9週，グラウンド，指定，一斉からグループ）。

2. 診 断

①各項目の評点分布

表1 自分の能力に関すること

	2点	1点	0点	-1点	-2点
ゴルフ	2	6	74	12	6
1 サーキット	14	12	39	33	2
インターバル	13	17	50	17	3
ゴルフ	4	10	70	16	0
8 サーキット	6	10	53	31	0
インターバル	7	24	52	13	4
ゴルフ	12	30	14	44	0
15 サーキット	0	16	25	59	0
インターバル	2	52	22	22	2

表2 友人に関すること

	2点	1点	0点	-1点	-2点
ゴルフ	10	58	26	6	0
2 サーキット	10	57	23	8	2
インターバル	0	13	33	50	4
ゴルフ	2	16	82	0	0
9 サーキット	20	18	45	17	0
インターバル	0	14	57	20	9
ゴルフ	0	26	72	2	0
16 サーキット	0	37	49	14	0
インターバル	0	22	57	21	0

表3 教師に関すること

	2点	1点	0点	-1点	-2点
ゴルフ	12	40	42	6	0
3 サーキット	8	41	49	2	0
インターバル	0	7	30	41	9
ゴルフ	12	18	64	4	2
10 サーキット	4	31	35	10	20
インターバル	2	11	54	20	13
ゴルフ	10	66	8	14	2
17 サーキット	6	84	8	2	0
インターバル	2	15	24	49	10

表4 認知に関すること

	2点	1点	0点	-1点	-2点
ゴルフ	32	56	6	6	0
4 サーキット	21	59	10	10	0
インターバル	4	28	24	33	11
ゴルフ	2	64	8	24	2
11 サーキット	0	49	10	41	0
インターバル	0	27	35	34	4
ゴルフ	22	62	14	2	0
18 サーキット	2	61	24	8	5
インターバル	2	15	35	41	7

表5 価値観に関すること

	2点	1点	0点	-1点	-2点
ゴルフ	22	62	14	2	0
5 サーキット	0	63	10	27	0
インターバル	2	33	19	46	0
ゴルフ	2	82	6	8	0
12 サーキット	0	51	22	27	0
インターバル	0	28	24	46	2
ゴルフ	0	68	12	20	0
19 サーキット	0	63	14	21	2
インターバル	2	28	13	57	0

表6 よろこびに関すること

	2点	1点	0点	-1点	-2点
ゴルフ	8	72	18	2	0
6 サーキット	5	55	20	20	0
インターバル	8	19	17	54	2
ゴルフ	4	86	2	8	0
13 サーキット	2	76	6	16	0
インターバル	0	28	7	63	2
ゴルフ	8	42	16	34	0
20 サーキット	2	76	6	16	0
インターバル	9	61	4	24	2

表7 評価に関すること

	2点	1点	0点	-1点	-2点
ゴルフ	20	70	10	0	0
7 サーキット	14	29	24	19	14
インターバル	4	24	28	37	7
ゴルフ	38	46	16	0	0
14 サーキット	18	17	49	16	0
インターバル	4	12	43	24	17
ゴルフ	0	86	4	10	0
21 サーキット	2	69	14	15	0
インターバル	2	29	2	67	0

《診断結果の解釈》

表1から表7はそれぞれの項目について、評点の分布を比率で示したものである。この表からプラス点あるいはマイナス点が過半数に達した授業に着目して分析をしてみることにする。

ゴルフの授業では項目2「友人」、項目3，17「教師」、項目4，11，18「認知」、項目5，12，19「価値観」、項目6，13，20「よろこび」、項目7，14，21「評価」にプラス点の評点が過半数に達している。

サーキット・トレーニングの授業では項目2「友人」、項目17「教師」、項目4，18「認知」、項目5，12，19「価値観」、項目6，13，20「よろこび」、項目21「評価」にプラス点の評点が過半数に達しているが、反対にマイナス点が過半数に達した項目に項目15「自分の能力」が見出される。

インターバル・トレーニングの授業では項目15「自分

の能力」, 項目20「よろこび」にプラスの評点の比率が高く, マイナスの評点が過半数に達した項目として, 項目2「友人」, 項目3, 17「教師」, 項目19「価値観」, 項目6, 13「よろこび」, 項目21「評価」がある。

以上, 項目ごとの評点の分布についての分析を総括すると, ゴルフの授業では21項目中15項目に学生の過半数が好意的反応を示し, サーキット・トレーニングの授業では好意的反応が過半数であるもの11個, 非好意的反応が過半数であるもの1個, インターバル・トレーニングの授業では好意的反応が過半数であるもの2個, 非好意的反応が過半数であるもの7個ということになる。

このように, 各項目ごとの評点の分布から, 学習者の授業に対する満足の度合をみると, ゴルフは満足の度合が高く, サーキット・トレーニングはやや満足, インターバル・トレーニングは満足の度合が低い授業であったといえる。

筆者は体育実技で学習者が, 授業に好意, 非好意を示す要素の一つに学習者の種目の好みが増えられと思っている。スポーツ種目と内容を異にするインターバル・トレーニングは, 学生が一番敬遠する種目の一つである。非好意的反応が多くみられたインターバル・トレーニングの授業に対する指導の困難性の高さをうかがうことができる。

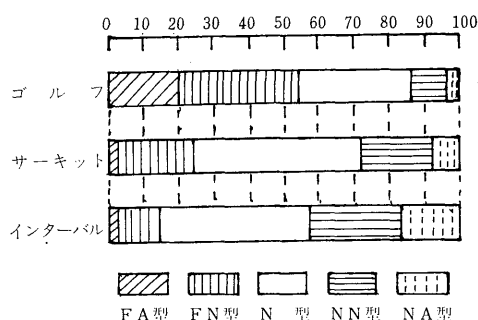
②タイプ別反応様式の全体的傾向

五段階分類法によるタイプ別の比率を示したものが図1である。

図1から全体的傾向として, つぎのような点を指摘することができる。

ゴルフはFA・FN型に学習者の過半数が集中しているのに対し, サーキット・トレーニングではN型が約半数で, 残りはFA・FN, NN・NA型に同数程度分布し,

図1 タイプ別の全体的傾向



インターバル・トレーニングでは NN・NA 型が約半数を占めている。

したがって, タイプ別の全体的傾向からみて, 授業の雰囲気や成果において, ゴルフは成功した授業, サーキット・トレーニングは満足した者と不満足な者とがほぼ同数という授業, インターバル・トレーニングは指導法の検討を要する授業と診断することができよう。

参 考 文 献

- 1) 小林篤ほか, 1974, 態度測定による体育の授業診断の手引, 体育科教育4, 32~40。
- 2) 小林篤ほか, 1974, よろこびを育てること—態度尺度の解説, 体育科教育5, 30~36。
- 3) 小林篤ほか, 1974, 体育のよい授業の姿—診断基準の解説, 体育科教育6, 29~36。
- 4) 小林篤ほか, 1974, 診断結果を解釈するための指針, 体育科教育7, 33~40。
- 5) 小林篤, 1975, 授業分析法入門, 明治図書。
- 6) 祖父江孝男, 1971, 県民性, 中公新書265, 31~40。